



八地申第17号

1月22日提出!

## 2021年3月ダイヤ改正に関する申し入れ

2020年12月24日に「2021年3月ダイヤ改正等について」の提案を八王子支社より受けました。今ダイヤ改正のトピックスとして、保守作業時間の拡大によるバリアフリー化、ホームドアなどの安全対策工事の進捗が増すことによるお客さまサービスの向上、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたお客さまの生活様式の変化に対応するため初終電時刻の見直し、中央線から青梅線への直通列車を削減することにより立川駅からの着席サービスを向上させるとしています。

新型コロナウイルス感染拡大の終息の目途が立たない中、社会インフラを担う鉄道業として、人命を第一に、感染しない、させない取り組みをより強化していくことが求められます。何より、日々感染リスクを伴いながらも、お客さまに安心してご利用いただくという使命を果たすべく現場第一線で奮闘する社員が、安全で安心して働くことができる職場を築き上げなければなりません。

したがって、下記の通り申し入れました。

### 【共通】

1. ダイヤ改正において、安全レベルとサービスレベルを向上させることを前提としつつ、これまでのダイヤの問題点を改善させる施策とすること。
2. 乗務密度が高まっているなかにおいて、休養での心身のリフレッシュは安全に直結することから、睡眠を目的とした乗務の中断の時間において実質的な睡眠時間を確保し、環境を整えること。
3. 「保守作業時間拡大による働き方改革推進や鉄道設備の設置・保守のスピードアップ」について具体的に示すこと。
4. 小淵沢駅での夜間入区車両の車内清掃は駅社員が行うのではなく、JR東日本環境アクセスに委託していることから責任を持って対応し、車内貫通点検はこれまで通り駅社員が行うこと。

### 【検修】

1. 列車の運休リスクを低減させるために、入場や車輪転削が重なっても予備編成を確保できる配置両数を確保すること。
2. 三鷹車両センター仕業検査の夜間の休憩時間が、列車の入出区時刻に見合っていないことから見直しを図ること。

**No.89 に続く**